

国際地域研究所から国際人間学研究所へ

中部大学国際人間学研究所長

長 島 信 弘

本研究所は国際地域研究所という名の下に2002年に開設20周年を迎え、7月には故高円宮憲仁親王殿下をお迎えして記念シンポジウム「国際文化交流と地域研究」を中部大学大学院国際関係学研究所と共催で開きました。その際も、その後も、「地域研究」とは何かについて所員たちの間で議論を重ねてきました。

この研究所が目的とし、実践してきたのは、人類全体の政治・経済・社会・文化に関わる諸問題を個別的に調査・研究し、それをまとめて公表することでした。その際「地域」は便宜的な区分、「見出し」としての性格を持っていました。しかし、固有名詞を付けた「地域」という限定空間を設けることは、それがあたかも統合された実体であるような錯覚を生んできたことも事実であります。

現在この地球上で生起している人間に関わる諸現象は、国家を単位とした「国際関係」や、空間を線引きした特定「地域」を超えた、グローバルな現象となりつつあります。また、政治・経済・社会・文化のハードな体系を絶えず予測不能な形で混乱させているのは、主として「人間的要素」であると考えられます。世界の流動化が大規模に進行しつつある実態の把握に努める研究所の名称としては、「国際人間学研究所」のほうがよりふさわしいのではないかという判断の下に2003年度より名称の変更に踏み切った次第です。

研究所の活動も、今後は「人間的要素」により一層の関心を寄せて進めていく所存です。皆様からのご批判、ご助言をお待ちしています。